



「ゆ」から世界を新しく。

GOKURAKUYU
HOLDINGS

2017年3月期決算説明会

2017年5月26日

(東証JASDAQ コード：2340)

株式会社極楽湯ホールディングス

会社概要

全国NO.1温浴施設チェーン（店舗数日本一）

「極楽湯」「RAKU SPA」ブランドで 国内38店舗（直営23・FC15）
の 温浴施設を運営

中国で温浴事業（直営とフランチャイズ展開）

人口世界No.1であり、高度経済成長国の中国に2011年に進出
2013年2月、海外1号店を上海にてオープン
現在、直営海外3店舗（上海2・武漢1）運営とFC展開
FC契約は 青島・無錫・上海2の4店舗について現地企業と締結済み

2017年1月～ 持株会社体制へ移行

(株) 極楽湯 ⇒ (株) 極楽湯ホールディングス

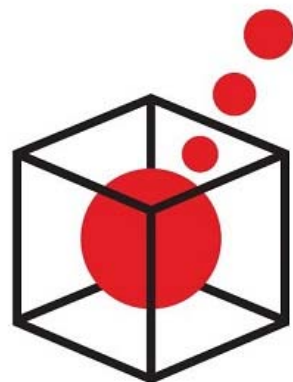
「企業体質強化」と「機動的な経営」へ経営機能と執行機能を分離
傘下の国内事業と中国事業の迅速な業務執行により収益向上を図る

2017年6月28日～ 経営陣の体制を新しく

国内事業と中国事業を担当する役員をそれぞれの子会社の代表に
持株会社の新たな経営陣には、グローバルな視点を取り入れる

2017年1月、新会社 (株) 極楽湯ホールディングス誕生

ロゴマーク



「ゆ」から世界を新しく。
GOKURAKUYU
HOLDINGS

— ロゴマークに込めた思い —

**極楽湯グループは「ゆ」から始まる
快適癒し空間を創って来ました。**

**今後も、新たな空間創りのため、
「ゆ」のように温かくも、
型にはまらず成長し続ける
私達でありたいと思っています。**

人への温かさ、優しさ。

即ち「癒し」を通じて社会貢献を果たします。

日本から世界へ。

人や自然との調和を大切に。

その先の成長へと向かい、発信し続けていきます。



(株) 極楽湯 が運営



「日常生活の延長線上に癒しを提供する」
をコンセプトに展開する日帰り温浴施設。



広々とした館内に多くの遊べるコンテンツを盛り込み、
飲食店にも劣らない種類豊富な食事メニューを用意し、
お子様から高齢者まで幅広い世代の方が楽しめる時間
消費型の施設。カフェはカジュアル感ある施設づくり。



極楽湯
直営21店・FC15店



RAKU SPA
直営2店（鶴見・cafe浜松）

中国現地子会社が運営



上海（海外1号店）



2013年2月開業

上海（海外2号店）



2015年2月開業

武漢（海外3号店）



2016年11月開業

日本の平均店舗の6倍の広さをもつ館内に、日本の「和」を感じる空間をデザイン
日本の店舗同等の衛生管理、癒しなど「おもてなし」のサービスを提供

今後、FC展開も具体化へ



2017年3月期決算概要 2018年3月期見通し

売上、営業利益ほぼ計画通り、収益性は改善 国内一部店舗に減損会計適用で特損発生

(単位：百万円)

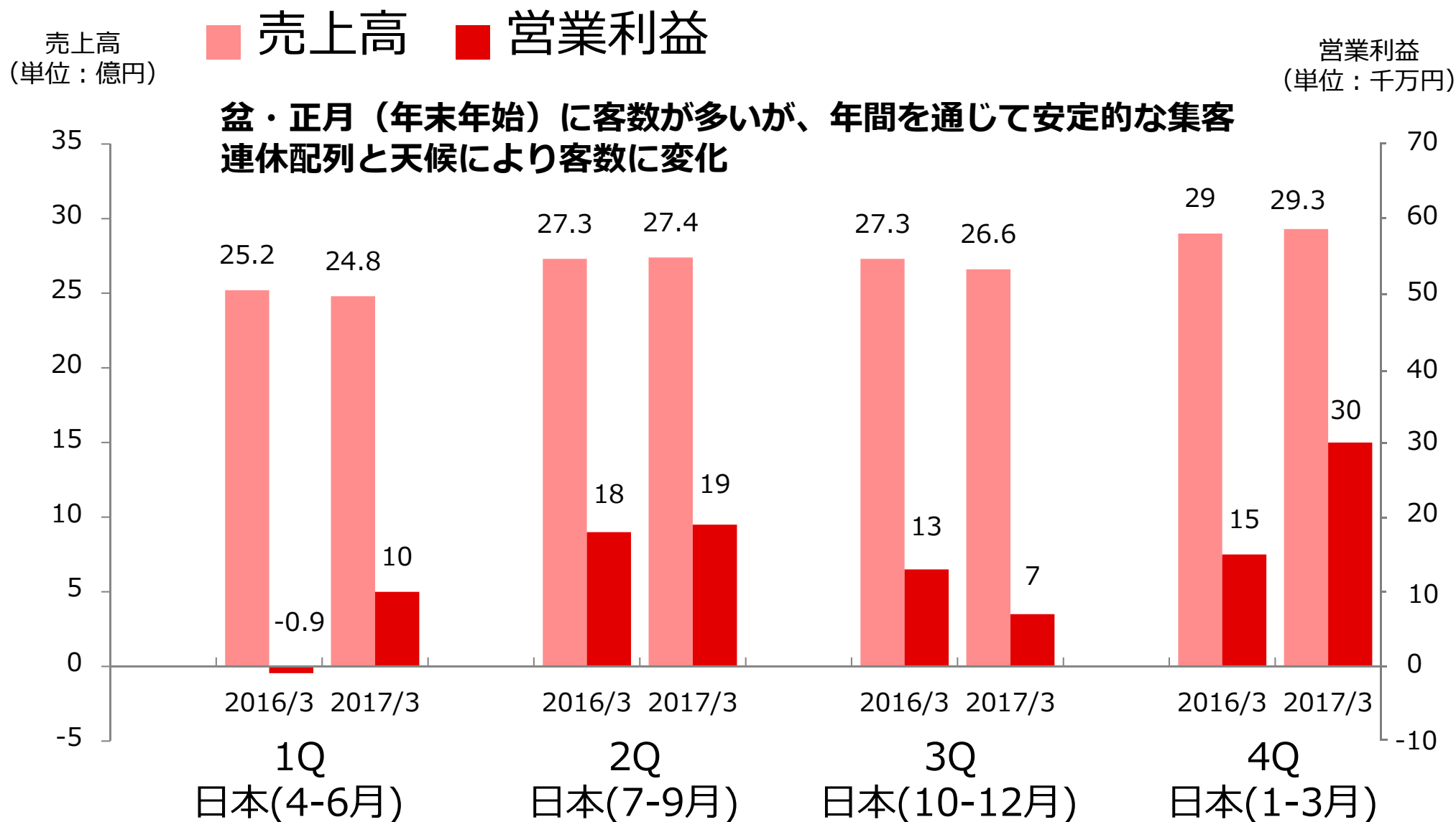
| | 2016年 3月期 | 2017年 3月期 | 増減額 | 前期比 | 2017年 3月期 期初計画 |
|----------------------|---------------|---------------|------|---------|----------------------|
| 売上高 | 14,129 | 13,758 | △371 | △2.6% | 13,800 |
| 営業利益 | 448 (3.1%) | 657 (4.8%) | +209 | +46.4% | 650 |
| 経常利益 | 345 | 703 | +358 | +103.4% | 500 |
| 親会社株主 帰属 当期純利益 | 312 | 287 | △25 | △8.1% | 220 |

上海で日本式温泉ブームにより競争が激化 国内・中国ともコスト改善で増益

(単位：百万円)

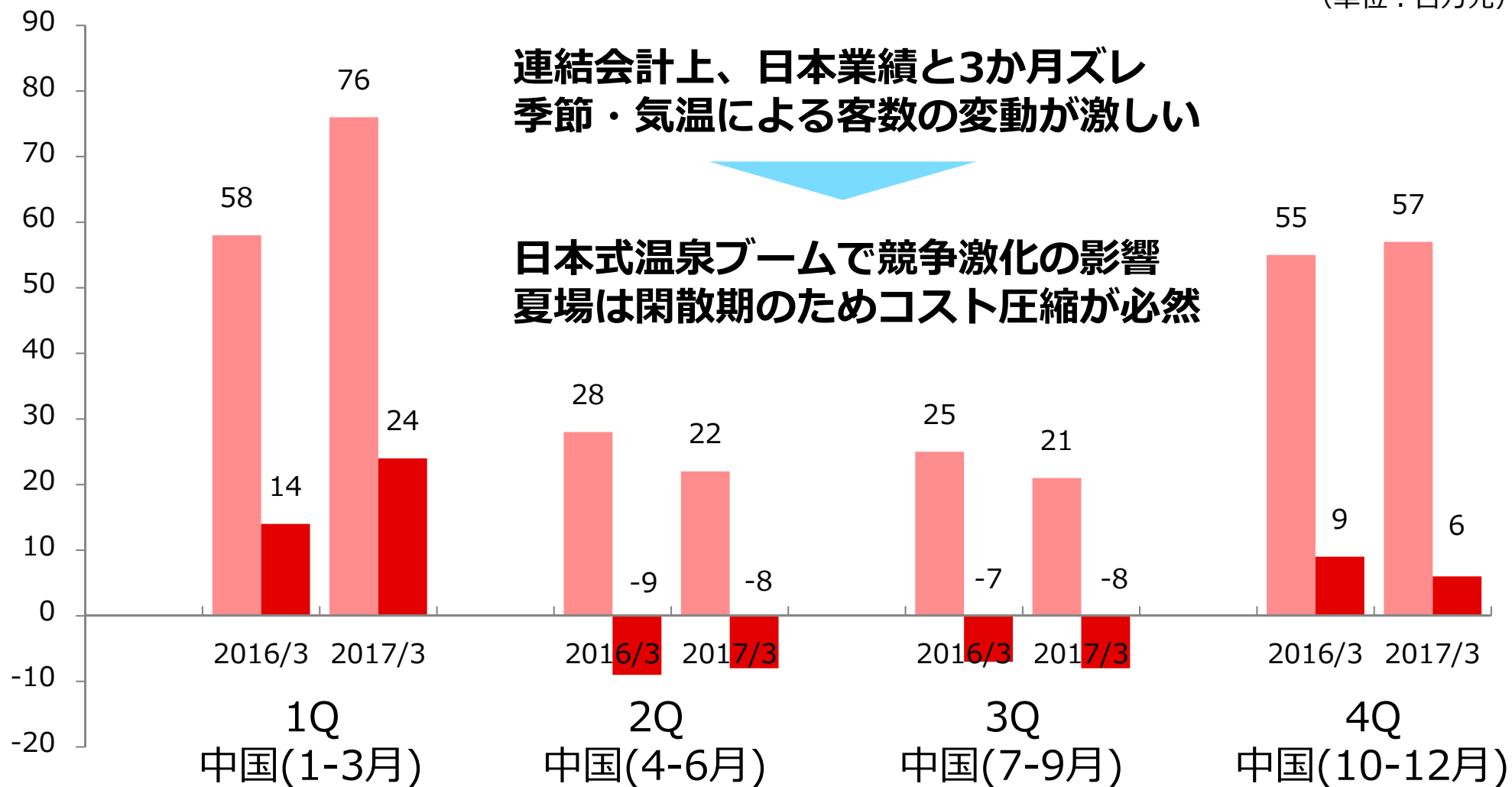
| | 2016年 3月期 | 2017年 3月期 | 増減額 | 前期比 |
|---------|--------------|--------------|------|--------|
| 売上高 | 14,129 | 13,758 | △371 | △2.6% |
| 日本 | 10,983 | 10,987 | +4 | |
| 中国 | 3,230 | 2,922 | △308 | |
| 調整 | △84 | △151 | | |
| セグメント利益 | 448 | 657 | +209 | +46.4% |
| 日本 | 462 | 685 | +223 | |
| 中国 | 144 | 216 | +72 | |
| 調整 | △158 | △245 | | |





■ 売上高 ■ 営業利益

（単位：百万元）



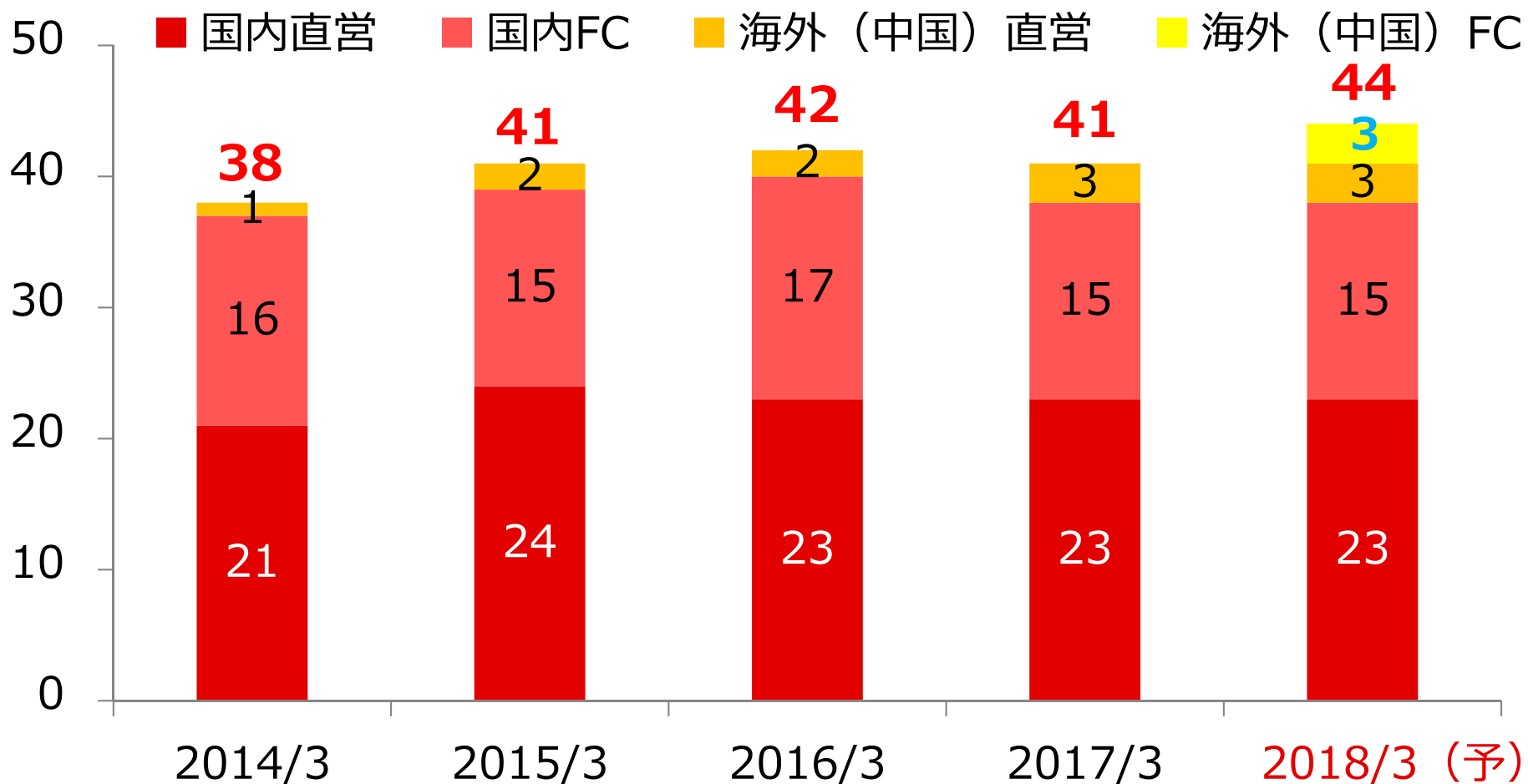
国内・中国の直営店出店に向けた積極的な投資 『調達＜返済』の結果、期末残高減少

(単位：百万円)

| | 2016年 3月期 | 2017年 3月期 |
|------------------|--------------|--------------|
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,824 | 5,766 |
| 営業活動キャッシュ・フロー | 1,917 | 1,442 |
| 投資活動キャッシュ・フロー | △1,102 | △2,560 |
| 財務活動キャッシュ・フロー | 1,198 | △61 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △71 | 51 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 1,941 | △1,128 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 5,766 | 4,638 |



当社の出店条件と合致すれば、国内・中国、FC・直営問わず、機動的に出店へ



武漢店が通期フルに寄与し、増収 経年劣化・収益性向上のための改装を計画

(単位：百万円)

| | 2017年 3月期実績 | 2018年 3月期予想 | 増減額 | 前期比 |
|----------------------|----------------|----------------|------|--------|
| 売上高 | 13,758 | 13,900 | +142 | +1.0% |
| 営業利益 | 657 | 500 | △157 | △23.9% |
| 経常利益 | 703 | 380 | △323 | △46.0% |
| 親会社株主 帰属 当期純利益 | 287 | 200 | △87 | △30.4% |

安定的かつ継続的な配当方針 2017年3月期は前期同様、6円配当

| | 2017年 3月期見込 | 2018年 3月期予想 |
|----------------|----------------|----------------|
| 配当金 | 6円 | 6円 |
| 配当性向 | 28.3% | 42.6% |
| DOE (株主還元率) | 1.6% | - |

2018年3月期も6円を予定

事業戦略と今後の展望

国内事業：

「極楽湯」「RAKU SPA」の新規出店
経年劣化・ニーズの多様化に応じた改装など

海外（中国）事業：

日本式温浴へのニーズと競争激化を踏まえ
収益向上に向けた直営店の改装と施策の実施
現地事業会社とのFC展開・出店

+ 新形態・新業態の開発

内容検討中、影響軽微のため収益予算化なし

中国でのノウハウを活かして 国内で滞在型施設の出店・改装

 **RAKU SPA** Cafe

RAKU SPA Cafe 浜松
(2016年8月リニューアル・オープン)



既存「極楽湯」から改装
2016年実績 客単価2割増加
2017年度も売上増加見込

 **RAKU SPA**

RAKU SPA 名古屋（仮称）
(2018年夏頃 新規オープン予定)



<イメージ図>

名古屋市郊外（名東区）に立地
店舗面積約1600坪、駐車場300台弱
近郊の幅広い家族層をターゲット



「ゆ」から世界を新しく。
GOKURAKUYU
HOLDINGS

**2013年に海外1号店をオープン
現在、直営3店舗とF C展開中**



**競争激化の中で日本式温浴のフロントランナー
として以下の施策で差別化・優位性を再構築
（ローカリゼーションの推進）**

- 1. ローカル社員の幹部登用
（語学力問わない、言語ローカル化推進）**
- 2. 一部日系企業からローカル企業へ取引先見直し
など**

青島：「紅樹林グループ」(2016年8月発表)

<計画概要>

【所在地】山東省青島市黄島区浜海大道1366号

【店舗面積】約9,500㎡

無錫：「博大置業グループ」(2016年8月発表)

<計画概要>

【所在地】江蘇省無錫市浜湖区蠡湖大道博大摩登1930

【店舗面積】約8,000㎡

上海：「東渡国際グループ」(2016年12月発表)

<計画概要>

【所在地】上海市青浦区淀山湖大道

【店舗面積】約6,000㎡

上海：「万信酒店グループ」(2017年1月発表)

<計画概要>

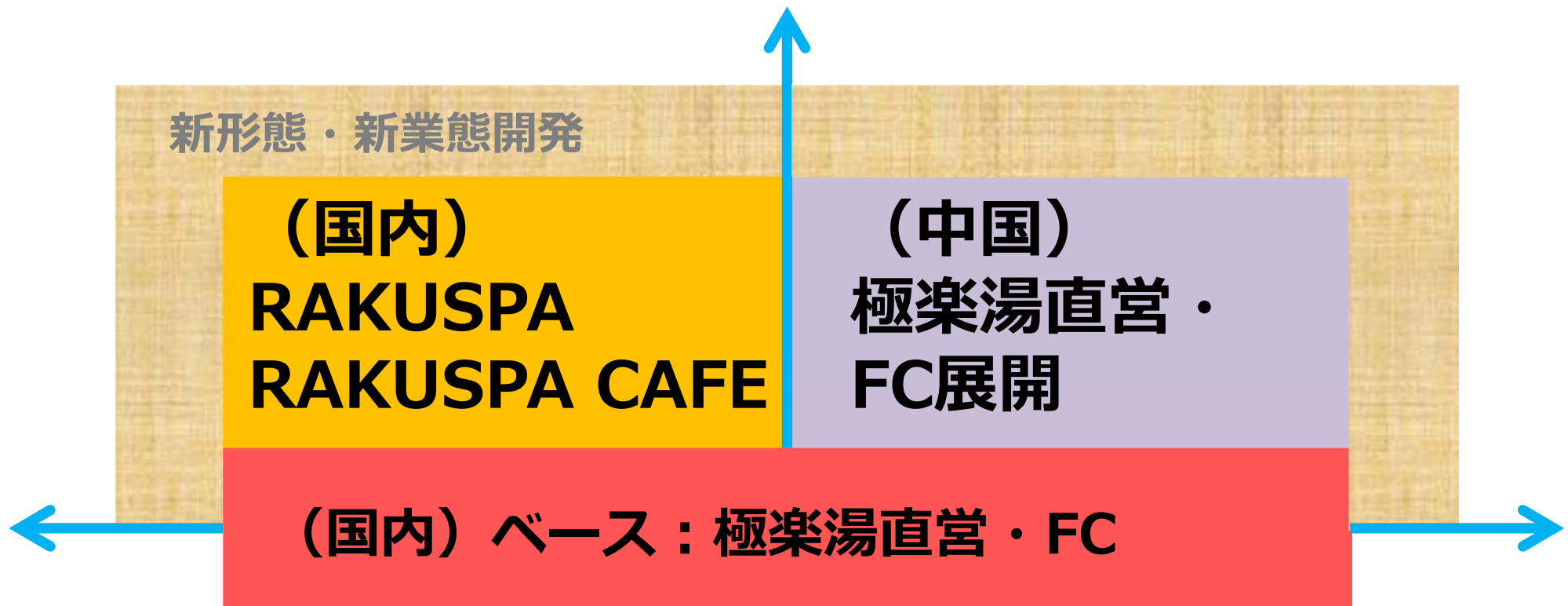
【所在地】上海市浦東新区川沙鎮

【店舗面積】約8,000㎡

他にもFC契約交渉中

多様なニーズと 市場規模に合わせた事業展開

売上高増加・収益性の追求



本資料は、株式会社極楽湯ホールディングスの事業および業界動向に加えて、株式会社極楽湯ホールディングスによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社極楽湯ホールディングスは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2017年5月26日現在において、利用可能な情報に基づいて、株式会社極楽湯ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではございません。

2017年5月 **株式会社極楽湯ホールディングス**

(東証JASDAQ : 2340)

お問い合わせ先: ir@gokurakuyu.ne.jp

